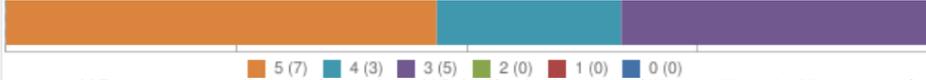


授業アンケート 2015年度 後期

コマ、学部	月2	全データ数	15
科目名	技術の社会史	7割出席データ数	15
担当教員名	田中 浩朗	出席率未回答数	0
		7割出席割合	100.0

問1. あなたのこの授業への出席率はどの程度でしたか。

(5:100% 4:90%以上100%未満 3:70%以上90%未満 2:50%以上70%未満 1:50%未満)



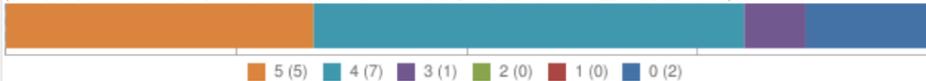
問2. この授業について、予習・復習や課題など、今まで授業時間外に取り組んだ学習時間は、1週間あたり平均してどの程度でしたか。

(5:2時間以上 4:1時間以上2時間未満 3:30分以上1時間未満 2:30分未満 1:全くしなかった)



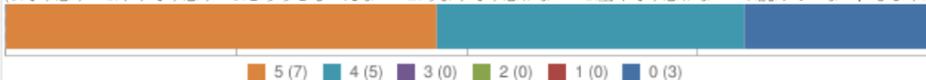
問3. あなたは、シラバスを参照し、科目選択や予習・復習に役立てましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



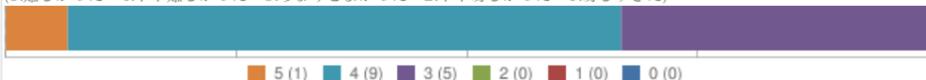
問4. 授業内容は、おおむねシラバスに書かれていた通りでしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない 0:読んでいない、もしくは覚えていない)



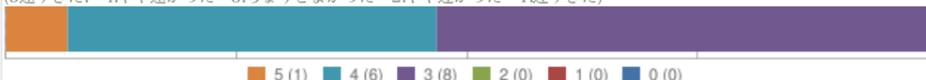
問5. 授業内容の難易度はあなたに合っていましたか。

(5:難しかった 4:やや難しかった 3:ちょうどよかった 2:やや易しかった 1:易しすぎた)



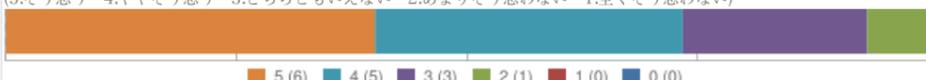
問6. 授業の進度はあなたに合っていましたか。

(5:速すぎた 4:やや速かった 3:ちょうどよかった 2:やや遅かった 1:遅すぎた)



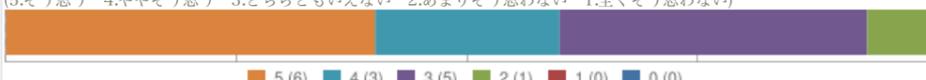
問7. 話し方（声量やスピードなど）は聞き取りやすかったですか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問8. 専門知識や用語の説明は分かりやすかったですか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



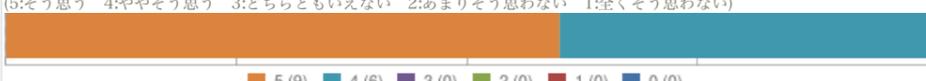
問9. 板書やスライド、視聴覚教材などは、授業の理解を助けるものでしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



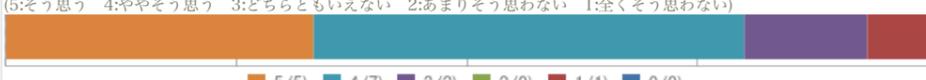
問10. 教科書や配布資料（デジタルコンテンツを含む）は役に立ちましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



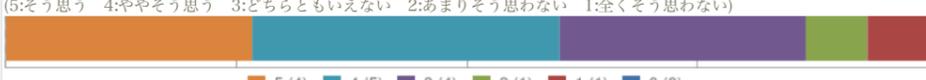
問11. 教員は授業に意欲的に取り組み、指導は熱心でしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



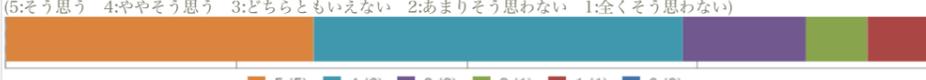
問12. 教員は、教室の学びやすい雰囲気を作るように努めていましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



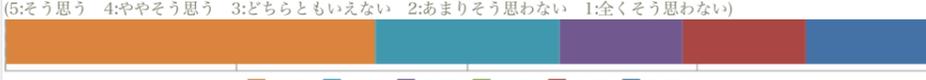
問13. この科目の内容について、興味と関心が深まりましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



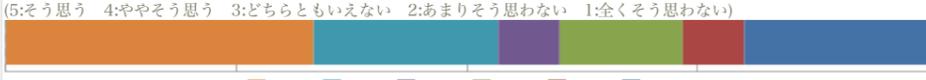
問14. あなたはこの授業によって大学生らしい「主体的な学び」が実現できたと思いますか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問15. あなたはこの授業を履修して良かったと思いますか。

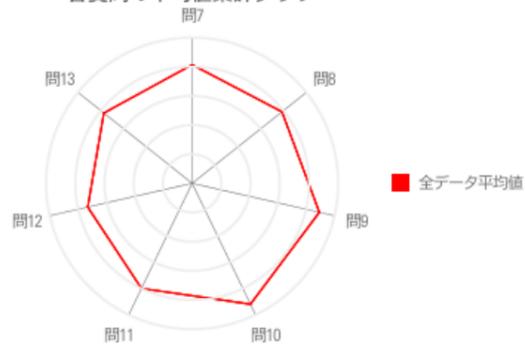
(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



各質問の平均値集計

	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
問	学習時間	シラバス	授業内容	難易度	進度	話し方	用語	板書	資料の適切	指導の熱心さ	雰囲気	興味・関心
全データ平均	3.53	4.31	4.58	3.73	3.53	4.07	3.93	4.47	4.60	4.00	3.67	3.87
7割出席平均	3.53	4.31	4.58	3.73	3.53	4.07	3.93	4.47	4.60	4.00	3.67	3.87

各質問の平均値集計グラフ



所見票

1. 授業アンケート集計結果について

1. 授業アンケートの集計結果について

授業の仕方に関する問7から問12までについては、5段階評価の平均値が3.7~4.6と比較的良好な評価を得ており、大きな問題はないと考えられます。問12の「教員は、教室の学びやすい雰囲気を作るように努めていましたか」については、3.7と相対的に低い評価となっていますが、これは、大教室の中で受講者が後ろの方にまばらに座っていたことによるものと思われます。一部の学生はしばしば私語ないし内職を行っていて、注意はしましたが、それでも限界がありました。授業の難易度と進度については、「ちょうどよかった」と答えた回答者がそれぞれ33%と53%しかおらず、難しすぎる、あるいは速すぎると答えた受講者が一定数いました。これは問8「専門知識や用語の説明は分かりやすかったですか」に対する平均値が3.9と相対的に低い値となっていることと関係がありそうです。より時間をかけて丁寧に説明することが求められているのかもしれませんが。総合的な評価と見なすことのできる興味関心の深まり（問13）および自由設定した問15「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」については、それぞれ平均値が3.9と3.8であり、やや低めの評価を得ました。

2. 自由記述欄の回答について

良かった点については、特に回答はありませんでした。改善した方が良い点としては、「各曜日によってSNSの盛り上がりには差ができてしまう」という回答がありました。このクラスは出席者が毎回十名余りしかいなかったため、人数の多い他のクラスに比べて書き込みが少ないと感じたのだと思います。時間割の関係で、どうしてもこの曜日時間は受講者が少なくなってしまうため、来年度は月曜には開講しないことにしました。その他の回答としては、「評価のつけ方が厳しい」「2014年の時と評価の方法が違って、単位取得の難易度が変わっている点に気がなった」など、評価に関する意見がありました。評価の仕方は毎年改善を進めていますので、少しずつ変わってはいるのですが、単位取得の難易度については大きな変化はないように気を付けています。その目安は平均点ですが、昨年度の本科目の全クラスの平均点は66点、今年度は67点です。ほとんど変わっていませんので、それほど問題はないと考えています。

3. 今後の授業改善に向けて

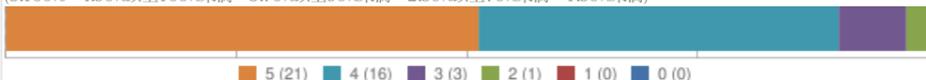
授業SNSや課題の相互評価は、様々な利点があるものの、学生も教員も新しい道具に振り回されている感がなくもありません。今学期は、これまでに比べて授業SNSに対する肯定的な評価が目立って減りました。ここ数年インターネットを利用した新しい道具を導入することにかかなりの労力をさいてきましたが、もう一度原点にもどって、良い授業、良い学習とはどういうものかを考え直してみたいと思います。

授業アンケート 2015年度 後期

コマ、学部	水3	全データ数	41
科目名	技術の社会史	7割出席データ数	40
担当教員名	田中 浩朗	出席率未回答数	0
		7割出席割合	97.6

問1. あなたのこの授業への出席率はどの程度でしたか。

(5:100% 4:90%以上100%未満 3:70%以上90%未満 2:50%以上70%未満 1:50%未満)



問2. この授業について、予習・復習や課題など、今まで授業時間外に取り組んだ学習時間は、1週間あたり平均してどの程度でしたか。

(5:2時間以上 4:1時間以上2時間未満 3:30分以上1時間未満 2:30分未満 1:全くしなかった)



問3. あなたは、シラバスを参照し、科目選択や予習・復習に役立てましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問4. 授業内容は、おおむねシラバスに書かれていた通りでしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない 0:読んでいない、もしくは覚えていない)



問5. 授業内容の難易度はあなたに合っていましたか。

(5:難しかった 4:やや難しかった 3:ちょうどよかった 2:やや易しかった 1:易しすぎた)



問6. 授業の進度はあなたに合っていましたか。

(5:速すぎた 4:やや速かった 3:ちょうどよかった 2:やや遅かった 1:遅すぎた)



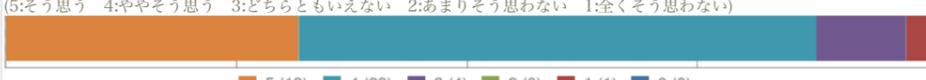
問7. 話し方 (声量やスピードなど) は聞き取りやすかったですか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



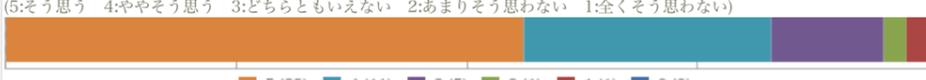
問8. 専門知識や用語の説明は分かりやすかったですか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



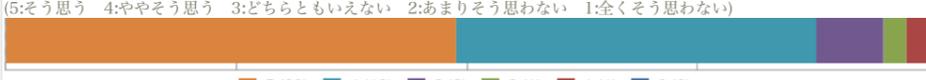
問9. 板書やスライド、視聴覚教材などは、授業の理解を助けるものでしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問10. 教科書や配布資料 (デジタルコンテンツを含む) は役に立ちましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



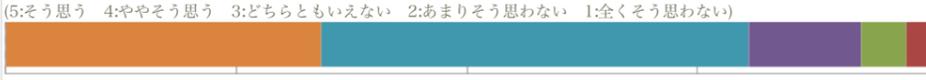
問11. 教員は授業に意欲的に取り組み、指導は熱心でしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



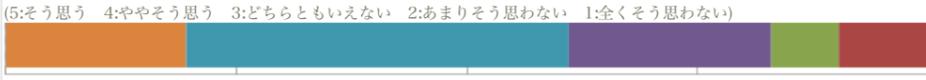
問12. 教員は、教室の学びやすい雰囲気を作るように努めていましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



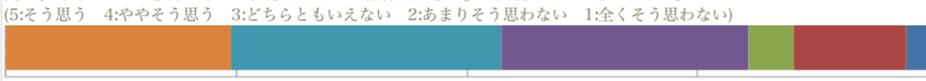
問13. この科目の内容について、興味と関心が深まりましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問14. あなたはこの授業によって大学生らしい「主体的な学び」が実現できたと思いますか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問15. あなたはこの授業を履修して良かったと思いますか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



各質問の平均値集計

	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
問	学習時間	シラバス	授業内容	難易度	進度	話し方	用語	板書	資料の適切	指導の熱心さ	雰囲気	興味・関心
全データ平均	3.34	3.77	3.96	3.56	3.51	4.12	4.15	4.32	4.29	4.27	4.05	3.54
7割出席平均	3.35	3.76	3.96	3.58	3.53	4.15	4.15	4.30	4.28	4.28	4.10	3.55

各質問の平均値集計グラフ



所見票

● 授業アンケート集計結果について

1. 授業アンケートの集計結果について
 授業の仕方に関する問7から問12までについては、5段階評価の平均値が4.1~4.3と比較的良好な評価を得ており、大きな問題はないと考えられます。ただ、昨年度の値と比較すると、どれも若干下がっていますので、改善の余地はあります。授業の難易度と進度についても、昨年度より「ちょうど良かった」という回答が目に見えて減りました(難易度75%→49% 進度82%→61%)。総合的な評価と見なすことのできる興味関心の深まり(問13)および自由設定した問15「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」についても、平均値がともに3.5となり、昨年度より評価を下げています。

2. 自由記述欄の回答について
 良かった点としては、「スライドがわかりやすかった」「SNSを通じたコミュニケーション」といった授業の方法に関するもの、「真面目に取り組めばそれに見合った評価がされる授業であったと思う」「真面目にやっていたら単位が取れそうなこと」といった評価方法に関するものがありました。

他方、改善した方が良い点としては、「SNSで時間をとられ、あまり授業に集中できなかった」「授業中のツイートは話を聞き逃すことが多くなるので、必要なツイート数を10から少し減らしてほしい」「SNSは強制力を持つとやる気を無くします」といった授業SNSに否定的な意見がありました。昨年度までは肯定的な意見が圧倒的に多かったのですが、今年度はその点で変化が見られました。「課題を出し忘れた時の救済措置があればよかったの」と思いました」という意見もありました。課題が毎週出され、しかも提出まで3日間しかないため、出し忘れるケースがあったようです。今学期新たに導入した課題の相互評価についてのコメントもありました。「相互評価をもう少し変えた方が良い。どのようにしても相互評価となるという加減になってしまうだろう」「相互評価のコメントは、一定の低評価(各項目で0.5点又は総合で10点以下等)で義務付けるとコメントが増える、又はしっかり読む人が増えると思います」といった意見は、受講者同士で評価を行うと、評価がよい加減になってしまうのではないかと心配が読み取れます。この授業では、5~8名程度の評価を平均するという一方で、評価の信頼性を上げました。個々の評価にはある程度のバラツキがあるものの、一定数の評価を平均することでかなり確かな評価になることを教員は確認しています。ですので、相互評価がよい加減なものになるという心配はほとんどないと考えられます。ただ、今回の相互評価は知識を問うような観点での評価ではなかったため比較的うまくいきましたが(大学レベルの文章か、他の受講者に深い理解をもたらす内容か)、知識の理解を評価するような場合は、知識が不十分な受講者に信頼できる評価ができるかという問題は生じるだろうと思います。その際には、評価基準をより具体的にするなど工夫が必要になるだろうと思います。

3. 今後の授業改善に向けて
 授業SNSや課題の相互評価は、様々な利点があるものの、学生も教員も新しい道具に振り回されている感がなくありません。今学期は、これまでに比べて授業SNSに対する肯定的な評価が目立って減りました。ここ数年インターネットを利用した新しい道具を導入することにかかりの努力をさいてきましたが、もう一度原点にもどって、良い授業、良い学習とはどういうものかを考え直してみたいと思います。

授業アンケート 2015年度 後期

コマ、学部	金2	全データ数	22
科目名	技術の社会史	7割出席データ数	22
担当教員名	田中 浩朗	出席率未回答数	0
		7割出席割合	100.0

問1. あなたのこの授業への出席率はどの程度でしたか。

(5:100% 4:90%以上100%未満 3:70%以上90%未満 2:50%以上70%未満 1:50%未満)



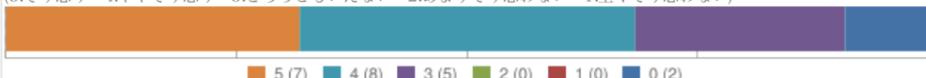
問2. この授業について、予習・復習や課題など、今まで授業時間外に取り組んだ学習時間は、1週間あたり平均してどの程度でしたか。

(5:2時間以上 4:1時間以上2時間未満 3:30分以上1時間未満 2:30分未満 1:全くしなかった)



問3. あなたは、シラバスを参照し、科目選択や予習・復習に役立てましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問4. 授業内容は、おおむねシラバスに書かれていた通りでしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない 0:読んでいない、もしくは覚えていない)



問5. 授業内容の難易度はあなたに合っていましたか。

(5:難しかった 4:やや難しかった 3:ちょうどよかった 2:やや易しかった 1:易しすぎた)



問6. 授業の進度はあなたに合っていましたか。

(5:速すぎた 4:やや速かった 3:ちょうどよかった 2:やや遅かった 1:遅すぎた)



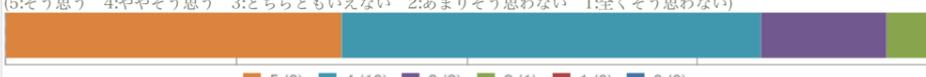
問7. 話し方（声量やスピードなど）は聞き取りやすかったですか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



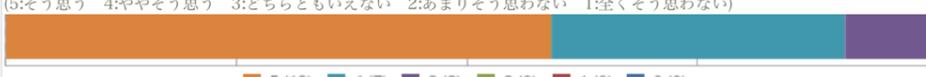
問8. 専門知識や用語の説明は分かりやすかったですか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



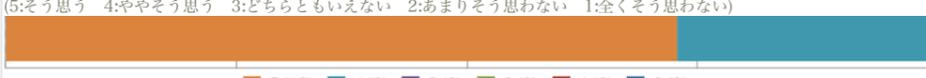
問9. 板書やスライド、視聴覚教材などは、授業の理解を助けるものでしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



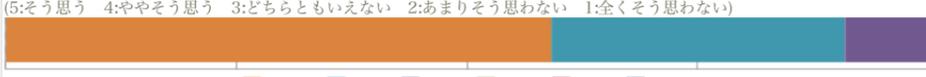
問10. 教科書や配布資料（デジタルコンテンツを含む）は役に立ちましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問11. 教員は授業に意欲的に取り組み、指導は熱心でしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



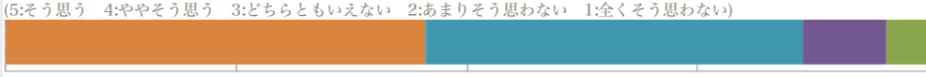
問12. 教員は、教室の学びやすい雰囲気を作るように努めていましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



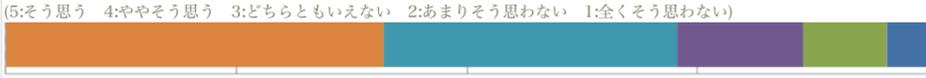
問13. この科目の内容について、興味と関心が深まりましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問14. 主体的な学びが実現できましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問15. 履修して良かったと思いますか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



各質問の平均値集計

	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
問	学習時間	シラバス	授業内容	難易度	進度	話し方	用語	板書	資料の適切	指導の熱心さ	雰囲気	興味・関心
全データ平均	3.59	4.10	4.74	3.36	3.32	4.14	4.14	4.50	4.73	4.50	4.45	4.27
7割出席平均	3.59	4.10	4.74	3.36	3.32	4.14	4.14	4.50	4.73	4.50	4.45	4.27

各質問の平均値集計グラフ



所見票

1. 授業アンケート集計結果について

1. 授業アンケートの集計結果について

授業の仕方に関する問7から問12までについては、5段階評価の平均値が4.1～4.7と比較的良好な評価を得ており、大きな問題はないと考えられます。授業の難易度と進度についても、「ちょうど良かった」という回答がそれぞれ64%と73%であり、大きな問題はないと思われます。ただ、昨年度に比べると、難しかった、速かったという回答が増えており、改善の余地があるかもしれません。総合的な評価と見なすことのできる興味関心の深まり（問13）および自由設定した問15「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」については、平均値がそれぞれ4.3と4.6であり、総合的に見ても比較的良好な評価を得ています。

2. 自由記述欄の回答について

良かった点としては、「社会の歴史が好きであったため、エンジニアという観点から学べたことがいいものになった。また、習ったことのつながりがこの授業で知ることができたと思った」という内容面に関するものと、「授業SNSで意見交換が出来た事」「ビデオによる資料を使つての授業に興味を持って受けられた」といった授業方法に関するものがありました。

他方、改善した方が良い点としては、「課題についてのルールを始めて全て決めてほしかった」というものがありました。課題の相互評価という方法を今学期初めて導入しましたが、試してみても初めてわかることもあり、今学期は途中で軌道修正しながら進めました。今後は、今学期の経験を踏まえ、よりより課題の出し方ができると思います。

3. 今後の授業改善に向けて

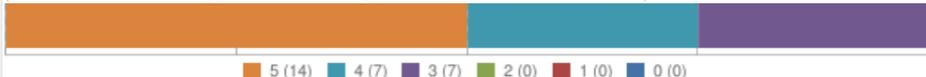
授業SNSや課題の相互評価は、様々な利点があるものの、学生も教員も新しい道具に振り回されている感がなくもありません。今学期は、これまでに比べて授業SNSに対する肯定的な評価が目立って減りました。ここ数年インターネットを利用した新しい道具を導入することにかんがりの労力をさいてきましたが、もう一度原点にもどって、良い授業、良い学習とはどういうものかを考え直してみたいと思います。

授業アンケート 2015年度 後期

コマ、学部	土4	全データ数	28
科目名	技術の社会史	7割出席データ数	28
担当教員名	田中 浩朗	出席率未回答数	0
		7割出席割合	100.0

問1. あなたのこの授業への出席率はどの程度でしたか。

(5:100% 4:90%以上100%未満 3:70%以上90%未満 2:50%以上70%未満 1:50%未満)



問2. この授業について、予習・復習や課題など、今まで授業時間外に取り組んだ学習時間は、1週間あたり平均してどの程度でしたか。

(5:2時間以上 4:1時間以上2時間未満 3:30分以上1時間未満 2:30分未満 1:全くしなかった)



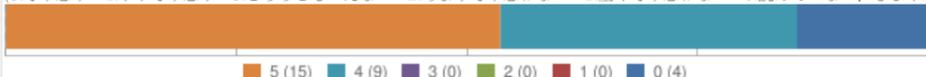
問3. あなたは、シラバスを参照し、科目選択や予習・復習に役立てましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



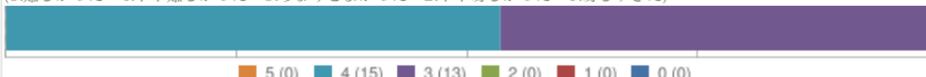
問4. 授業内容は、おおむねシラバスに書かれていた通りでしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない 0:読んでいない、もしくは覚えていない)



問5. 授業内容の難易度はあなたに合っていましたか。

(5:難しかった 4:やや難しかった 3:ちょうどよかった 2:やや易しかった 1:易しすぎた)



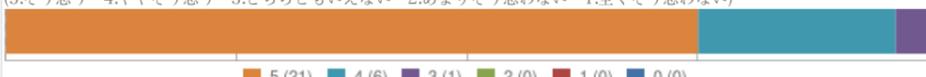
問6. 授業の進度はあなたに合っていましたか。

(5:速すぎた 4:やや速かった 3:ちょうどよかった 2:やや遅かった 1:遅すぎた)



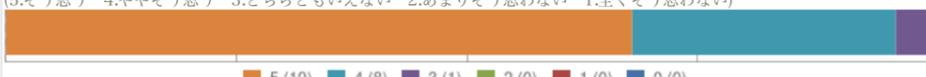
問7. 話し方 (声量やスピードなど) は聞き取りやすかったですか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



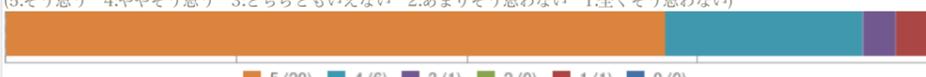
問8. 専門知識や用語の説明は分かりやすかったですか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



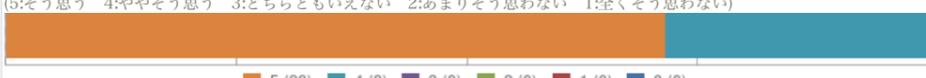
問9. 板書やスライド、視聴覚教材などは、授業の理解を助けるものでしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



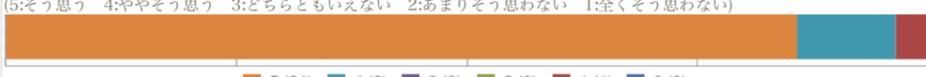
問10. 教科書や配布資料 (デジタルコンテンツを含む) は役に立ちましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



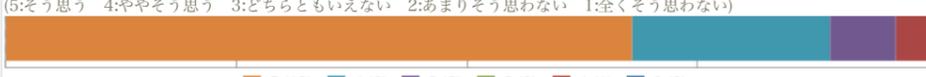
問11. 教員は授業に意欲的に取り組み、指導は熱心でしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



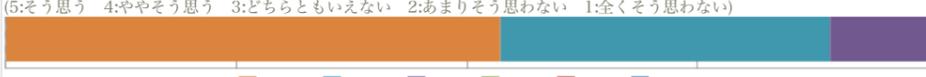
問12. 教員は、教室の学びやすい雰囲気を作るように努めていましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



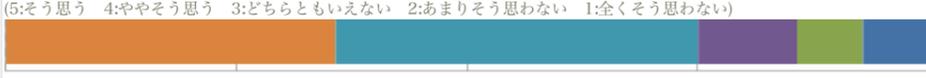
問13. この科目の内容について、興味と関心が深まりましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問14. あなたはこの授業によって大学生らしい「主体的な学び」が実現できたと思いますか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問15. あなたはこの授業を履修して良かったと思いますか。

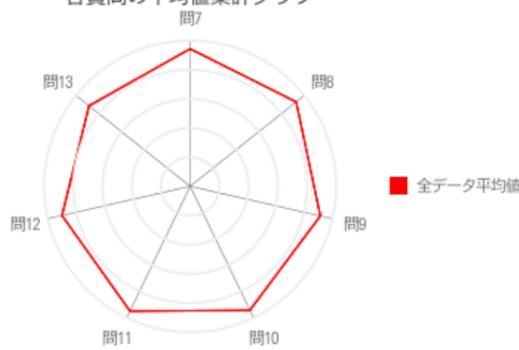
(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



各質問の平均値集計

	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
問	学習時間	シラバス	授業内容	難易度	進度	話し方	用語	板書	資料の適切	指導の熱心さ	雰囲気	興味・関心
全データ平均	4.25	4.21	4.63	3.54	3.25	4.71	4.64	4.57	4.71	4.75	4.50	4.43
7割出席平均	4.25	4.21	4.63	3.54	3.25	4.71	4.64	4.57	4.71	4.75	4.50	4.43

各質問の平均値集計グラフ



所見票

1. 授業アンケート集計結果について

1. 授業アンケートの集計結果について

授業の仕方に関する問7から問12までについては、5段階評価の平均値が4.5~4.7と比較的良好な評価を得ており、大きな問題はないと考えられます。授業の進捗についても、79%の回答者が「ちょうど良かった」と答えており、大きな問題はないと思います。授業の難易度については、54%が「やや難しかった」、46%が「ちょうどよかった」と答えており、若干難易度は高めだったようですが、大学の授業においてはやや難しいくらいがちょうどよいとも言えるので、ここでも大きな問題はないと思います。総合的な評価と見なすことのできる興味関心の深まり(問13)および自由設定した問15「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」については、ともに平均値が4.4であり、総合的に見ても比較的良好な評価を得ています。

2. 自由記述欄の回答について

良かった点としては、「大学の歴史やエンジニアの歴史を知ることができたので良かった」「分かり易くて、歴史や社会が苦手な私でも興味深かったです」など、内容に興味を持ったというもの、「必要な資料や理解を深めるための情報がすべて公開されているので良かった」「授業スライドが授業後も見ることができるので復習がしやすかった」など、資料提供が良かったというもの、「SNSが難しかったが、他の授業よりも積極的に受けることができたと思う」「毎回課題があったので、他の授業よりも理解を深められた」など、授業システムが良かったというものがありました。

他方、改善した方が良い点としては、今学期新たに導入した課題の相互評価に関して、学期の途中で課題の出し方および評価基準が変わったことについて不満を述べたものが複数ありました。今学期が初めての試みであったため、どのような課題の出し方が望ましいのかについて試行錯誤をしたということで、今後はもう少し改善できると思います。また、相互評価の際、単に点数だけを付けるのではなく、コメントも付けることも義務化してよいのではないかという意見がありました。今学期は負担が大きくなりすぎるのではないかという懸念から、コメントは任意としましたが、付けられた点数の根拠を知りたいという要望が非常に強いため、負担が大きくなりすぎないように工夫をしつつコメントを義務化する方法を検討してみたいと思います。ただ、下に書いたとおり、今後は授業システムについてより大幅な変更を行うかもしれません。

3. 今後の授業改善に向けて

授業SNSや課題の相互評価は、様々な利点があるものの、学生も教員も新しい道具に振り回されている感がなくありません。今学期は、これまでに比べて授業SNSに対する肯定的な評価が目立って減りました。ここ数年インターネットを利用した新しい道具を導入することにかかなりの労力をさいてきましたが、もう一度原点にもどって、良い授業、良い学習とはどういうものかを考え直してみたいと思います。